

R7学校評価アンケートの結果

①第1回児童アンケート結果（全体）

A そう思う
C あまりそう思わない
B ややそう思う
D そう思わない

		数									
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	A B率
1	学校はすきだ。	81	63	7	4	155	52.3%	40.6%	4.5%	2.6%	92.9%
2	学習用具のわすれ物がないように気をつけている。	106	39	8	2	155	68.4%	25.2%	5.2%	2.3%	93.5%
3	授業の内容がよく分かる。	74	72	7	2	155	47.7%	46.5%	4.5%	1.3%	94.2%
4	友達と話し合いながら学習して、よく分かるようになった。	93	44	16	2	155	60.0%	28.4%	10.3%	1.3%	90.5%
5	自分の考えをノートに書いたり、発表したりすることができている。	60	70	21	4	155	38.7%	45.2%	13.5%	3.7%	83.9%
6	クローம்பックを使って学習する事で、勉強が分かるようになった。	95	50	9	1	155	61.3%	32.3%	5.8%	2.9%	93.5%
7	地域やふるさとについての学習に積極的に取り組んでいる。	58	77	18	2	155	37.4%	49.7%	11.6%	1.3%	87.2%
8	ペタ・ピン・トン・目力に気を付けて、友達の意見や先生の話のきいている。	59	75	21	0	155	38.1%	48.4%	13.5%	0.0%	86.5%
9	次の授業に必要なものを準備してから休み時間をしている。	107	35	11	2	155	69.0%	22.6%	7.1%	0.7%	91.6%
10	家庭学習を、毎日20分（低学年）40分（中学年）60分（高学年）できた。	70	49	26	10	155	45.2%	31.6%	16.8%	6.5%	76.8%
11	1週間に1回、図書室にいて本を借りている。	95	36	17	7	155	61.3%	23.2%	11.0%	4.5%	84.5%
12	友達や先生、お客さん、誰にでも自分から進んであいさつをしている。	90	50	13	2	155	58.1%	32.3%	8.4%	1.3%	90.3%
13	3つの玉(ねばり玉、はってん玉、しんせつ玉)を意しきして、黙働清掃をしている。	82	62	11	0	155	52.9%	40.0%	7.1%	0.0%	89.1%
14	こまっている時、先生は、相談にのってくれる。	109	35	11	0	155	70.3%	22.6%	7.1%	0.0%	92.9%
15	自分にはいいところがある。	61	59	22	13	155	39.4%	38.1%	14.2%	8.4%	77.4%
16	宇出津っ子オリンピックや水泳、スポチャレ40m、なわとび練習、マラソン練習など体力をつけようがんばった。	104	41	8	2	155	67.1%	26.5%	5.2%	1.3%	92.3%
17	交通ルールや自転車に乗れる範囲を守り、車に気をつけている。	118	33	2	2	155	76.1%	21.3%	1.3%	1.3%	97.4%
18	早寝・早起きをしている。	66	53	28	8	155	42.6%	34.2%	18.1%	0.5%	76.8%
19	朝ご飯を毎日食べている。	139	9	5	2	155	89.7%	5.8%	3.2%	1.3%	95.5%
20	ネットのルールを守って生活している。	108	36	6	5	155	69.7%	23.2%	3.9%	3.2%	83.5%
21	将来の夢や目標をもっている。	109	23	8	15	155	70.3%	14.8%	5.2%	9.7%	77.0%

②第1回保護者アンケート結果（全体）

A そう思う B ややそう思う
C あまりそう思わない D そう思わない

		数					割合				
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	A B率
1	お子さんは家で、「学校（学級）は、楽しい。」と言っている。	65	42	7	4	118	55.1%	35.6%	5.9%	3.4%	90.7%
2	お子さんは、毎日元気に登校している。	82	30	3	3	118	69.5%	25.4%	2.5%	2.5%	94.9%
3	お子さんは、学習用具など忘れ物がないように気を付けている。	45	48	20	5	118	38.1%	40.7%	16.9%	4.2%	78.8%
4	お子さんは、「授業の内容が分かる。」と言っている。	33	65	13	7	118	28.0%	55.1%	11.0%	5.9%	83.1%
5	お子さんは、最後までしっかりと話を聞くことができる。	30	59	27	2	118	25.4%	50.0%	22.9%	1.7%	75.4%
6	お子さんは、家庭学習（宿題等）を毎日忘れずにしている。	72	30	13	3	118	61.0%	25.4%	11.0%	2.5%	86.4%
7	お子さんは、家で読書をしている。	16	25	45	32	118	13.6%	21.2%	38.1%	27.1%	34.7%
8	お子さんは、あいさつをしている。	54	53	7	4	118	45.8%	44.9%	5.9%	3.4%	90.7%
9	学校（先生）は、困ったときは親身になって相談にのってくれる。	69	41	8	0	118	58.5%	34.7%	6.8%	0.0%	93.2%
10	学校は、心身の健康づくりのための指導に取り組んでいる。	72	41	5	0	118	61.0%	34.7%	4.2%	0.0%	95.8%
11	学校は、児童の安全のために取り組んでいる。（感染症・熱中症対策、交通安全指導、登下校指導、避難訓練、メール配信など）	74	39	3	2	118	62.7%	33.1%	2.5%	1.7%	95.8%
12	お子さんは、早寝・早起きをしている。	45	47	23	3	118	38.1%	39.8%	19.5%	2.5%	78.0%
13	お子さんは、毎日朝ごはんを食べている。	102	9	7	0	118	86.4%	7.6%	5.9%	0.0%	94.1%
14	お子さんは、インターネットのルールを守って生活している。	36	59	18	5	118	30.5%	50.0%	15.3%	4.2%	80.5%
15	学校（学級）は、児童の活動の様子を各種便りやホームページなどで知らせてくれている。	79	37	2	0	118	66.9%	31.4%	1.7%	0.0%	98.3%
16	学校のホームページを見ている。	37	42	29	10	118	31.4%	35.6%	24.6%	8.5%	66.9%
17	PTA行事などに積極的に参加し、協力している。	22	61	34	1	118	18.6%	51.7%	28.8%	0.8%	70.3%

③第1回教員自己評価アンケート結果（全体）

A そう思う B ややそう思う
C あまりそう思わない D そう思わない

		数									
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	A B率
1	「分かる授業」を工夫して行い、基礎的・基本的な内容の定着を図った。	5	5	0	0	10	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2	自分の考えを過不足なく表現するために、ひらめきカードや問い返し等の取組をした。	3	6	0	0	9	33.3%	66.7%	36.3%	0.0%	100.0%
3	クロームブック・ICT機器を活用し、わかりやすい授業改善に努めた。	6	2	1	0	9	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	88.9%
4	学習のルール（聞く姿勢 ベタ・ピン・トン・目力）の定着を意識して、見取りながら授業を行った。	7	2	1	0	10	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%	90.0%
5	家庭学習は、学年に応じた質と量を考えて取り組ませた。	5	3	0	0	8	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
6	学年に応じた本を読ませたり、図書館利用など読書活動の推進を心がけた。	2	5	0	0	7	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%
7	「いつでも・どこでも・誰にでも」を意識して、進んで挨拶ができる児童を目指し、指導を行った。	8	3	0	0	11	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	100.0%
8	いじめや問題行動等の未然防止や早期対応に取り組んだ。	10	0	0	0	10	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
9	体力向上を目指して、体力アップ1校1プランの目標を達成できるように取り組んだ。	2	5	0	0	7	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%
10	折に触れ、早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が身につくように指導した。	7	3	0	0	10	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%
11	児童の安全のための指導や取組を行った。（感染症・熱中症対策、交通安全指導、登下校指導、避難訓練、メール配信など）	8	3	0	0	11	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	100.0%
12	学校・学級だより等、各種便りの定期的な発行やHP等により、児童の様子や学校の活動内容を伝えた。	5	4	0	0	9	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%
13	情報モラル等の指導を行った。	3	5	1	0	9	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	88.9%
14	地域の人材・素材を活用して、地域の教育力を生かしたキャリア教育・道徳の授業を行った。	0	4	2	1	7	0.0%	57.1%	28.6%	14.3%	57.1%
15	校務分掌への積極的な取組を行い、円滑な学校運営の推進に努めた。	7	3	1	0	11	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	90.9%
16	業務を計画的に、見通しをもって行い、時間外勤務の縮小に努めた。	4	5	2	0	11	36.4%	45.5%	18.2%	0.0%	81.8%

学力調査結果

○第6学年

〔全国学力学習状況調査〕

教科	県平均正答率	県平均との差	国平均正答率
国語科	70	概ね良好	67.0
算数科	62	良好	58.2
理科	61	良好	57.3

〔石川県基礎学力調査〕

教科	県平均正答率	県平均との差
社会科	57.3	概ね良好
英語科	88.6	平均

○第4学年

〔石川県基礎学力調査〕

教科	県平均正答率	県平均との差
国語科	53.4	良好
算数科	61.2	良好

良好（＋5以上）概ね良好（＋2～4以上）平均（±1）やや下回る（－2～4）下回る（－5以下）

漢字コンテストの結果・分析

1. 結果

学年	平均点 (点)	満点 (人)	合格 (人)	合格以上割合 (%)
2 年	68.0	1	5	30.0
3 年	81.9	1	1 6	58.6
4 年	78.6	5	5	41.7
5 年	82.5	2	1 3	60.0
6 年	96.5	1 4	9	92.0
全校	81.5	2 3	4 8	57.7
昨年度全校	90.3	4 9	4 9	74.5

2. 分析

- ・全校平均点は 81.5、昨年度より 8.8p 下がり定着に課題が見られた。昨年度の前期テストと比べると満点の児童が減り、合格率は 16.8p 下がっていた。
- ・平均点、合格率ともに下がっているので、漢字コンテストの練習の取組の見直しが必要である。学級全体での見直しや個人別での見直しが考えられる。
- ・コンテストの前だけに集中して練習に取り組むのではなく、日々の学習の中で小テストに取り組むなど、日頃から漢字を覚えていく必要がある。
- ・次回は後期漢字コンテストで 3 学期に実施予定である。しかし、2 学期にも漢字のまとめテストがあるので、どのような漢字練習が覚えることにつながるのか児童に考えさせながらコンテスト練習のように取り組み、3 学期の後期漢字コンテストへつなげていく必要がある。

《昨年度の漢字コンテストに向けての勉強実践例》

- ・国語のデジタル教科書に入っている漢字フラッシュカードを使って問題を出す。
- ・児童のレベルに合わせた練習プリントを作成し、繰り返し練習させる。
- ・プリントで間違えた漢字、分からない漢字だけを繰り返し練習させる。
- ・漢字コンテストの目標点数を明確にもたせる。コンテスト前ラスト 1 週間、小テスト (10 問) を毎日する。自分の目標点数に届かなかったら、合格するまで再テストをする。

〔今後の取り組み〕

- ・週末のクロームブック持ち帰りでの課題に、漢字・計算練習に取り組む。

使用教材：e ライブラリでのドリル学習・ぶんけい漢字・計算デジタルドリル

計算コンテスト結果・分析

1. 結果

学年	内容	平均点 (点)	満点 (人)	合格 (人)
1 年	たし算・ひき算	99.1	19	3
2 年	たし算・ひき算の筆算	88.6	8	5
3 年	たし算・ひき算の筆算 かけ算 わり算 (2 桁÷1 桁)	97.4	19	9
4 年	わり算の筆算 (2 桁、3 桁÷1 桁)	97.7	16	8
5 年	小数のかけ算・わり算	94.0	11	8
6 年	分数のかけ算・わり算 (通分・約分)	95.6	20	5

・全校平均 95.4 点。満点・合格 88.5%。(前年度：全校平均 94.38 点 満点・合格 90.6%)

2. 分析

- ・全校の平均点が 95 点ととても高い結果となった。今回行った定着に向けて以下に書かれているようなよい取組は続けていく。また、合格にいかなかった児童については、個人差が大きくなっていると思われるため、個別の定着をはかる必要がある。
- ・コンテストだけではなく、日常的に復習等を繰り返して、その学年でつけなければいけない基礎基本の力を必ずつけていくことを意識して授業や家庭学習の取組を行っていく。
- ・週末の宿題に必ず、e ライブラリやデジタル計算アイランドを出す。

〔よい取組〕

- ・計算カード 1 分 30 秒を全員できるようにさせる。休み時間に教師がめくって児童に答えてもらって合格かを見取っている。
- ・似たような問題を宿題に出す。苦手なものを全体で確認する。
- ・宿題でプリントをさせるだけではなく、丸付けと直しまでさせる。違うところを自分で意識することができる。
- ・計算アイランドの 3 問チェックをする。
- ・コンテスト本番は、裏面を使って 2 回目解き直す。

年間のゴールの姿

主体性をもち協働的に学ぶことで、不足なく表現することができる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
問われていることを正しく捉え、表現する力が弱い。	[現状と要因] ○「ひらめきカード」(本時の学習につながる教科用語や既習事項)を用いて考えることが定着し、既習を活かして考えを書きまとめることができる児童が増えた。 △考えは書けるようになってきたが、問われていることや条件に正対して不足なく表現できる児童はまだ少ない。 →児童に表現させたい内容と本時のねらいの整合性がとれていない。 [根拠となるデータ] ・後期 成果検証「自分の考えを書き切ることができる。」(78.3%) ・R6 県評価問題 国語 1(3)7.7% 算数 4(2)7.7% ・児童アンケート「問われたことについて考えや説明を正しく書くことができる。」(86.2%)

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
・児童に書かせたい「ねらいに合った内容：何を置いてどのように表現しているか」を明確にもつ。 ・「ひらめきカード」を用いて、既習や本時につながる教科用語を確かめる。 ・交流相手や表現方法等、自己選択の機会を取り入れる。	・ノート検証(成果)【授業評価表を作成した単元のノート】 「考えを教科用語や図・式・言葉、資料などを用いて書いている。」 80% ・授業評価表(実施)『「ひらめきカード」を使って既習を児童と共有した。100% 「自己選択の機会を取り入れた。」 100% ・参観シート「考えを不足なく書きまとめることができる。」 80% ・診断テスト「問われていることを正確に表現することができる。」 80% ・児童アンケート「問われたことについて教科用語やこれまでの学習で学んだことを使って書いている。」 90%	63% 86% 82% 82% 58% 68%

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価方法(誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
4	□児童アンケート(検証：4週)	88%	○全校児童対象の学習集会を行い、授業で取り組むことや家庭学習の内容について共通理解を図ることができた。 ▲休みの日の読書の項目における否定的評価が30%程度いるため、週末読書や並行読書等の取組を継続していく。
5	□ノート検証(学担：3週) □授業評価表(学担：3週) □参観シート(研究授業：4週) □診断テスト(検証：3週)	72% 75% 93% 67%	○模擬授業、研究授業、授業整理会を通して、本時のねらいと児童に書きまとめさせたい姿を明確にできた。 ▲普段の授業において、ねらい達成の姿と書きまとめた姿をより具体の姿としてもつ。
6	□ノート検証(学担：3週) □授業評価表(学担：3週) □参観シート(研究授業：4週) □診断テスト(検証：3週)	65% 86% 52% 48%	○校内研究授業でねらい達成の姿を共通理解できた。 授業評価表を使って普段の授業でも取り組めた。 ▲「深める」時間を確保するための授業展開の工夫や見通しを立てることが必要。
7	□ノート検証(学担：2週) □授業評価表(学担：3週) □参観シート(研究授業：2週) □診断テスト(検証：3週) □児童アンケート(検証：3週)	51% 86% 100% 60% 68%	○研究授業では「書きまとめる姿」とそのための手立てを話し合っただけでなく、宿題や朝学習等で復習する。

取組の成果○・課題▲

○ねらい達成の姿とそのためになどどのような手立てを行うかについて共通理解を図ることができた。
▲教師は、既習や教科用語を児童と共有したと捉えているが、児童の意識は不十分である。
児童に委ねる場面を含めた授業展開の工夫を行い、児童自身で表現の不足に気付く手立てを講じる。

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
豊かな思考・判断の基盤となる語彙力や読解力を高める。	・朝学習は隔週で漢字と計算練習を行う。 ・音読(ハキハキ・スラスラ・正しく読む)の仕方を授業で確かめ、家庭学習でも取り組ませる。 ・週末読書や学習関連本の並行読書を通して、読書に親しませる。	○

年間のゴールの姿

主体性をもち協働的に学ぶことで、不足なく表現することができる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
問われていることを正しく捉え、表現する力が弱い。	[現状と要因] ○表現させたい内容を授業者が明確にもつことで、教科用語や図・式・言葉、資料を用いて書こうとしている。 △問われていることを捉えることが不十分であったり、教科用語や図・式・言葉、資料に着目できていても不足があったりする。 →児童に表現させたい内容を具体で持つことが不十分かつ児童と共有できていない。 [根拠となるデータ] ・前期 成果検証「考えを教科用語や図・式・言葉、資料などを用いて書いている。」 (63%) ・R7 全国学力調査国語 3_三(2)63% (県平均 65%) 算数 1 (2) 37% (県平均 38.2%) ・児童アンケート「問われたことについて教科用語やこれまでの学習で学んだことを使って書いている。」 (68%)

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
・児童に書かせたい「ねらいに合った内容：【教科用語・図・式・言葉、資料】をどのように用いて表現しているか」を明確に持ち、内容に用いる言葉や文例を示し、児童自ら自分が書きまとめたものと比較できるようにする。 ・「ひらめきカード」の既習や本時につながる教科用語をみんなで声に出したりチョークの色を変えて板書したりして児童と共有する。 ・交流方法、表現方法等の自己選択の機会を取り入れた単元計画や授業案を考え、実行する。	・ノート検証（成果）【授業評価表を作成した単元のノート】 「考えを教科用語や図・式・言葉、資料などを用いて書いている。」 80% ・授業評価表（実施）『ひらめきカード』を使って既習を児童と共有した。100% 「自己選択の機会を取り入れた。」 100% ・参観シート「考えを不足なく書きまとめることができる。」 80% ・診断テスト「問われていることを正確に表現することができる。」 80% ・児童アンケート「問われたことについて教科用語やこれまでの学習で学んだことを使って書いている。」 90%	

3) 検証と改善 (C・A)

月	評価方法（誰が、いつ）	結果	取組の成果○・課題▲
9	☐ ノート検証（学担：3週） ☐ 授業評価表（学担：3週） ☐ 参観シート（研究授業：3週） ☐ 診断テスト（検証：4週）		
10	☐ ノート検証（学担：3週） ☐ 授業評価表（学担：3週） ☐ 参観シート（研究授業：3週） ☐ 診断テスト（検証：4週）		
11	☐ ノート検証（学担：3週） ☐ 授業評価表（学担：3週） ☐ 参観シート（研究授業：4週） ☐ 診断テスト（検証：4週）		
12	☐ ノート検証（学担：3週） ☐ 授業評価表（学担：3週） ☐ 参観シート（研究授業：1週） ☐ 診断テスト（検証：3週） ☐ 児童アンケート（検証：3週）		

取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
語彙力・読解力・協働的に学ぶ力を高める。	・音読や週末読書の取組を継続する。 ・教室に並行読書コーナーを設けたり学習関連本を紹介したりする。 ・アドジャントークを週1回、学活の時間に取り組む。	

学校研究

R7 研究主題

主体性をもち、協働的に学ぶ児童の育成を目指して
～学級経営を土台に～

1. 授業づくり

	授業づくり（学力向上プラン共通取組）	宇出津小授業スタイル
つかむ	① 導入の工夫☆考え（見通し）をもたせる手立て☆既習を活かす（比較する、掲示をヒントに、公式を使って）実物を準備 児童の生活と結びつけて 等 何をを使えばできるか ○○をすればできるかも？ 各教科の見方、考え方 主体的に考えられる手立てを！	・〈課題〉は赤チョークで囲む。 やれそう！ 書けそう！ ひらめきカードを用いて板書する
考える	② ねらい達成に向かうための個別支援 ・考えがもてない児童への支援 ・考えが書けた児童への支援（B→Aへ） ☆考えがもてたか挙手で確認する。	・ICT は、ねらい達成に効果的な活用を進めていく
深める	③ ねらい達成に向かうための問い返し ・曖昧な表現や不足している表現に問い返しをする。 ・個の発言を全体に問い返したり、広げたりする。	・教科用語やキーワードとなる言葉は黄色チョークで板書する。 ・教師が喋りすぎない！児童同士でつなげていく。教師は委ねる!!
まとめる	④ 児童は自分の言葉でまとめる。 課題に対して適切な表現でまとめる。 ・どうして～？→～から。 ・～の方法を考えよう。→①～。②～。（手順を書く。）	・まとめは赤チョークで囲む。 ☆使ってほしい言葉を条件として提示があっても良い。但し条件の言葉は全体で出させる。

診断テストについて

単元テスト（業者テスト：国算社理）の活用問題を検証する。

※3、4年生の社会はなし。

・各単元に「活用問題」があるので、正答数、無回答（0を目指す！）

誤答（簡単な分析も）で検証を行う。

誤答分析例：文末表現×、条件が満たされていない、題意が捉えられていない等

2. 基盤づくり

- ・家庭学習（音読、漢字、計算、週末読書、chromebook を使った学習）
- ・読書に関する取組（教室に並行読書コーナー、学習関連本の紹介）
- ・アドジャントーク（きずなタイム）：週1回、学活の時間に取り組む。

1. ねらい ノーテレビ、ノーゲームに取組み、個々の家庭学習の習慣化の定着を図る。
2. 家庭学習週間（7日間）の結果

	ノーテレビ	ノーゲーム	家庭学習時間
1年	6.7	6.2	6.2
2年	6.5	5.8	6.1
3年	6.7	6.2	5.9
4年	6.9	5.3	6.0
5年	6.7	6.1	3.6
6年	6.6	6.1	4.7
平均	6.7	6.0	5.4

3. 現状と課題

- ノーテレビに関しては、7日間達成に向けて頑張って取り組む児童が多かった。
- ノーゲームに関しては、保護者の方から児童への前向きなコメントが多かった。すべて「○」とまではいかなくても意識して取り組む児童が多かった。
- ノーテレビだけでも、7日間達成を目指したい。
- ノーゲームの達成率に関しては、できている人、できていない人の差が激しい。
7日間「×」は7人いた。1日守ることができないと、何日も続くことが多い。
- 土日の家庭学習時間に関しては、（金）の1日でまとめて宿題を終わらせていることから、土日の学習時間の達成率が低かった。
- 宿題以上の勉強をする児童が少ない。

《今後に向けて》

- ・今回の結果を児童に共有し、学校全体で取り組むものであることを児童と再度確認する。
- ・ノーテレビ、ノーゲーム、学習時間に関して「×」「0分」の回答が続いている場合、適宜個別で声掛けをする。学校でチェックし毎日カードを回収したほうが担任の見取りがしやすく、適宜声掛けもしやすい。
- ・学習時間に関しては、自分のやるべき勉強が終わっても、自分の興味のあるものや読書などを進んで取り組むよう指導する。

宇出津小学校読書実績 4/7～9/30

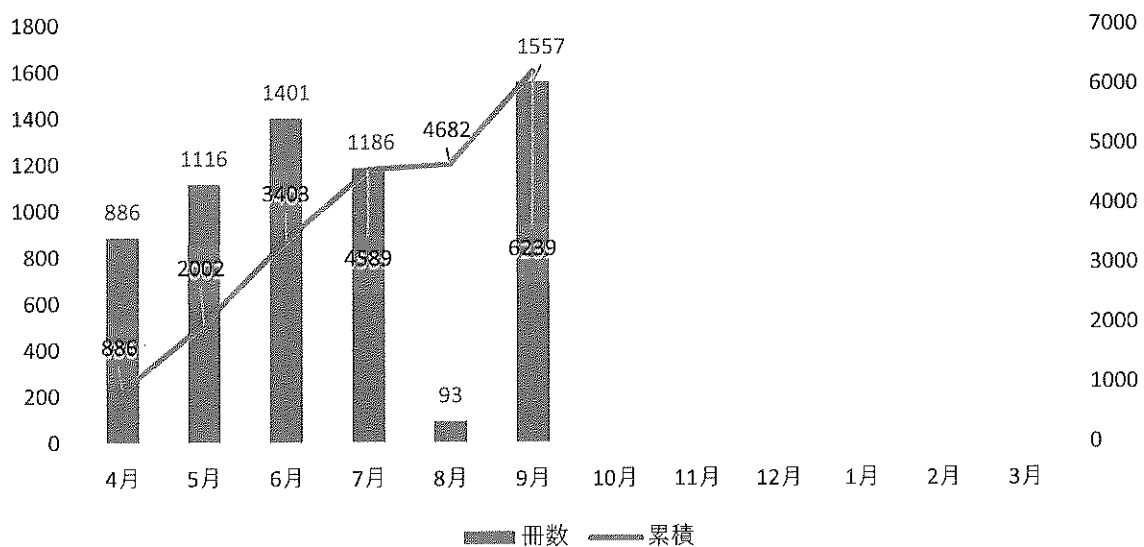
総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術・工学
82	58	179	251	1109	394
産業	芸術・美術	言語	文学	-	
143	319	37	3161	506	

合計（冊）	6269
冊/人	40

冊数

月別貸出数

累積



【R7 道徳科ゲストティーチャ授業実施計画】

	実施月	教材名	GTの方	GTの方に求めること
1年	12月実施予定	見守り隊 【道徳いしかわ】	見守り隊の方	見守り隊をしていて、子どもたちの様子からどんなことを感じるか、どのようなことを思うか等を話をしていただきたい。
2年	1月実施予定	七つのほし	満点星宇佐見さん	星座の美しさや偉大さに関する話をしていただく。七つの星(北斗七星の成り立ちなど)もお話ししていただきたい。
3年	11月実施予定	見事な赤色に	保存会の方	のとギリシマツツジの世話の大変さと、それを守り抜く思いについてお話をしていただく。
4年	11月実施予定	「ありがとう」の言葉	公民館の方	誰に足ししても、礼儀を正し、誠実に接することの大切や心地よさをお話していただく。
5年	11月実施予定	親から子へ、そして孫へ	公民館の方	地域の祭りの伝統や、継続していくための活動についてお話していただく。
6年	1月実施予定	小さな連絡船 「ひまわり」	能登海上保安署の方	海上保安署の中でどんな役割があるのか、その役割をどのような気持ちで果たしているのかについて、お話していただく。

生徒指導

目標	問題高度の未然防止、早期発見、早期対応の充実や相談体制の充実を図る。
指標	「いじめや問題行動等の未然防止や早期対応に取り組んだ」の項目に「肯定的な評価」の割合（教員アンケート）
結果	A 評価 100%で肯定的評価が100%であった。
取組	・児童への学校生活アンケートと保護者へのアンケートを行い、結果について必要に応じて担任が生徒指導や教務主任、管理職と情報交換を行ったり、その後の対応について相談したりした。 ・今年度は、「相手がうれしくなる気持ちのよいあいさつをしよう」という生活目標のもと、団ごとにあいさつ運動を行った。金曜日には自分のあいさつについてふりかえり、児童玄関に掲示してあいさつの意識の高まりを可視化した。最終日にはあいさつ運動の希望者が40人を超え、あいさつ運動が終わっても自分からあいさつをする行動を継続している児童が多い。   ・生徒指導だよりを家庭向けだけでなく教職員向けにも発行した。第一号は2022年に改訂された生徒指導提要の概要を伝えた。今後は「発達支持的生徒指導のポイント」についてまとめて発行する予定である。 ・7月に、いじめ対応アドバイザー研修を行い、学級や児童の様子を見てアドバイスをいただいた。11月にもいじめの未然防止に向けた内容で研修を行う予定である。全校職員で児童の発達支持的生徒指導を行っていく。

特別支援

目標	個に応じた支援体制を推進する。
指標	困り感を持つ児童が、楽しく学校生活をおくるために、「校内支援会議」「校内委員会」「校内研修」を開き、共通理解を図る。（実績評価）
結果	校内支援会議4回、児童理解の会を4回行った。（A評価）
取組	・職員会議や終礼時に「児童理解の会」を組み込むことで、定期的に児童の様子を共通理解する場を設けることができた。 ・学校全体で、困り感を持つ児童や、気になる児童に対する手立てや、今後の対応について複数人で検討する場を設けることができた。また、専門相談員を依頼し、支援の在り方や、手立てを具体的に教えていただく機会を設けることができた。 ・今後は、具体的な対応や手立てを、職員全体で実践し、ふりかえったり改善したりすることができればよいと考えている。

令和7年度 体カアップ1校1プラン計画書(小学校)

学校名 能登町立宇出津小学校

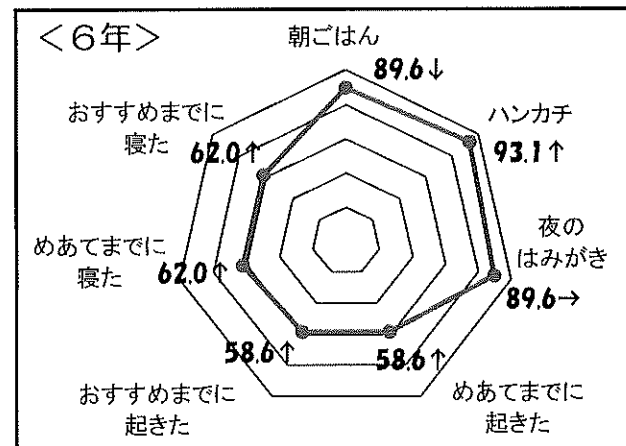
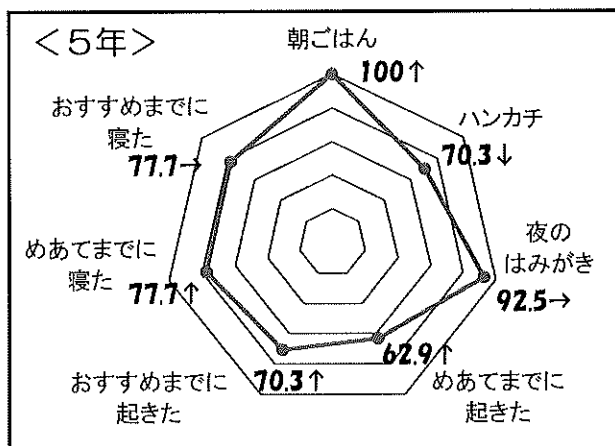
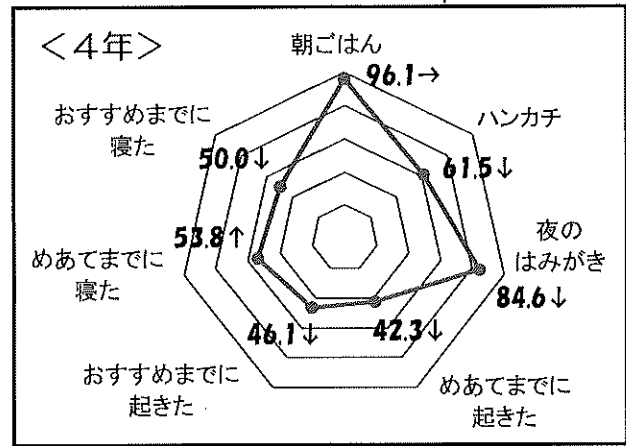
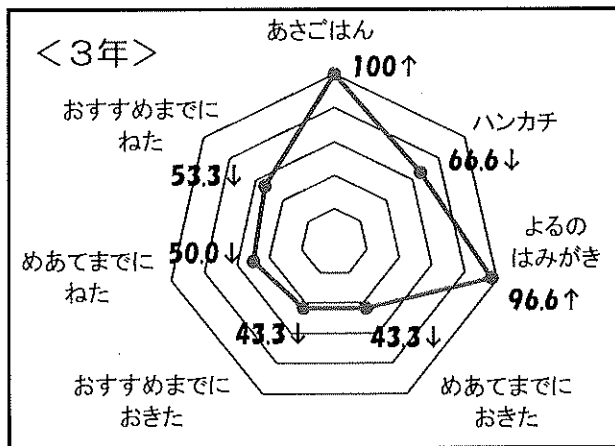
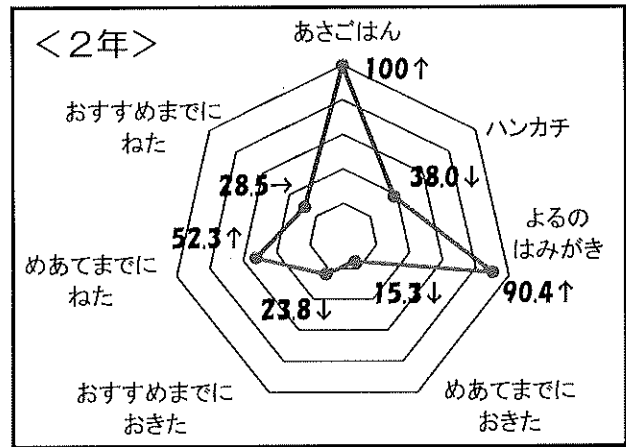
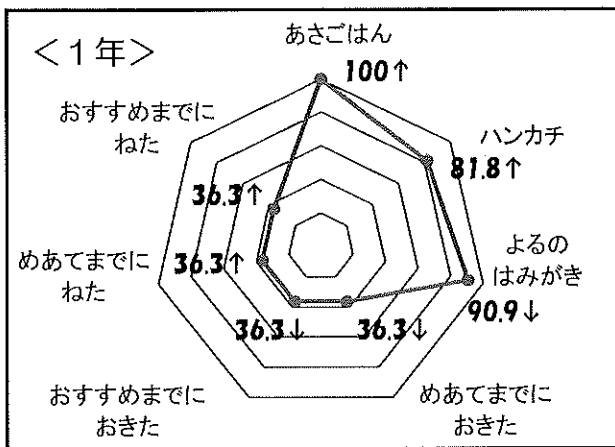
校長名 六田 茂行

プラン名		宇出津っ子体カアップ大作戦2025
現状・課題		・令和6年度に実施された体カ・運動能力調査では、ほとんどの学年において、多くの種目で県平均を上回っている。総合評価ではA+B群が55.1%、D+E群は、16.6%となっており、どちらの値も県平均以上の数値であった。 ・「50m」の5年男子、4年・5年・6年女子の数値及び「20mシャトルラン」の4年・5年男子、5年・6年女子の数値が県平均を下回っており、筋持久力や瞬発力に課題が残った。ただし、「20mシャトルラン」においては、震災の影響でこれまで行っていた体育館ではなく、グラウンドで行ったため、一概に現状の課題である結論付けることは難しい。 ・教科体育や特別活動を中心として、筋持久力や瞬発力を高める活動を充実させる必要がある。
目標指標・数値		・1学期の体カ・運動能力調査で実施する「50m走」と、2学期の追跡調査で実施する「50m走」の記録で児童の走力の伸びを見取る。2学期測定時の平均が1学期測定時の平均－0.2秒となることを目標にする。
具体的な取組	教科体育	・年間を通してスポチャレ40m,方向転換走に取り組み、瞬発力を高める。 ・姿勢を正して活動を行う意識をもって活動に取り組む。また、意識を高めさせるために姿勢を正して活動することのよさを伝える。 ・活動を振り返る時間や体の動きを言語化する時間を設ける。例えば、「走るときはうでを前にふる」、「跳び箱のときはうでをドンとつく」など体の動きを自分の言葉で表現させる。
	特別活動	・学期ごとに学校全体で取り組む運動を実施し体力向上を図る。 (宇出津っ子オリンピック、水泳記録会、宇出津っ子ロードレース、なわとび集会)
	その他	・掲示物 ①体カテストの歴代最高記録保持者名を掲示し、意欲の向上につなげる。 ②瞬発力アップに繋がるトレーニング方法を掲示し、誰でも取り組めるようにする。 ③スポチャレ40mや方向転換走の結果を掲示し、意欲の継続や向上につなげる。 ・特別活動の際には、合わせてマラソンカードやなわとびカードなど個々の達成記録が分かるものを配布し、意欲を高める。
		スポチャレいしかわの取組予定(有) ←有・無のどちらかを記入
評価方法		・1学期の体カ・運動能力調査で実施する「50m」と、2学期の追跡調査で実施する「50m」の記録を比較する。
前年度からの変更点		・前年度は、「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」の記録で評価をしていたが、今年度は「50m」で評価する。 ・今年度から、姿勢と運動の結びつきを教師も児童も意識して活動に取り組むこと。 ・活動を振り返る時間や体の動きを言語化する時間を設けること。
記載者 職・氏名		(職) 教諭 (氏名) 時兼 章泰

9月のステップアップウィークの結果

チェック項目が毎日達成できた人が多いと、外側の線に近づきます。

↑・・・増加◎
→・・・維持
↓・・・減少



9月の全ビンゴ達成人数！

1年生 8人

全員が朝ごはんを食べてきていました！◎

2年生 1人

毎日ハンカチを持ってくる人が全校の中で1人少なかったです。

3年生 8人

早寝早起きの成功率が前回より下がってしまいました…。

4年生 8人

ハンカチの成功率が前回より下がっています！

5年生 14人

「全ビンゴ達成 全員」クリアまで、あと6人です！

6年生 12人

早寝早起きの成功率も上がってきています。この調子でがんばりましょう。

R7 校外学習一覧

学年	日程	行き先・学習内容
1 年	9 月 16 日 (火) 8 : 30 ~ 12 : 00 (11 : 30 発) 雨天時 8 : 30 ~ 11 : 00 (10 : 30 発)	のと海洋ふれあいセンター ・磯観察 (雨天中止) ・貝殻工作 ・館内見学
2 年	10 月 10 日 (金) 8 : 30 ~ 11 : 30 (11 : 00 発) 【雨天】 8 : 30 ~ 11 : 00 (10 : 30 出発)	のと海洋ふれあいセンター ・磯観察・シアター 【雨天】・シアター ・施設見学・貝殻工作
3 年	10 月 2 日 (木) 8 : 15 ~ 12 : 00 (11 : 40 発)	あくあす能登 のとのファクトリー ・見学
4 年	9 月 29 日 (月) 9 : 30 ~ 12 : 00 (11 : 30 発) 【予備日】 10 月 6 日 (月)	羽根海岸 ・海岸清掃
5 年	9 月 24 日 (水) 9 : 30 ~ 12 : 00 (11 : 30 出発)	赤崎海岸 晴 : 魚釣り 雨 : 顕微鏡 (予定)
6 年	9 月 25 日 (木) ~ 26 日 (金) 25 日 (木) 8 : 30 出発 26 日 (金) 15 : 10 到着予定	鹿島少年自然の家 〔宿泊体験学習〕 ・いかだ体験 ・キャンプファイヤー ・野外炊飯